

式 辞

本日ここに、蕪崎市制施行六十一周年の記念式典を挙行いたしましたところ、ご来賓の皆様をはじめ、市議会議員、行政委員、並びに市民代表の皆様におかれましては、公私ともご多忙の折にもかかわらず、ご臨席を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

皆様には、常日頃から、市政の推進にあたり、格別なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

この度、本市名誉市民大村智様におかれましては、ノーベル医学・生理学賞という世界最高峰の荣誉に輝かれました。心よりお祝い申し上げ、市民の皆様とこの快挙の喜びを分かち合いたいと存じます。

大村名誉市民のノーベル賞受賞は、本市にとりましては大変な荣誉でありますとともに、蕪崎市民にとっても誇りとすべき偉業であり、大きな夢と希望を与えていただきました。

今後は、幾多のご功績のみならず、失敗を恐れず一筋にご努力を続けてこられた大村博士の真摯な姿勢とその重要性を後世に伝えながら、生涯学習宣言都市として、市民一人ひとりが先生のお姿に学んでいく所存であります。

さて、蕪崎市は、昭和二十九年、一町十ヶ村が大同団結し、市制を施行して以来、六十一年という尊い歳月が重ねられてまいりました。

その間に注がれてきた多くの先人諸賢並びに市民一人ひとりの惜しみないご労苦と情熱に思いを馳せ、あらためて深甚なる敬意と感謝を表したいと存じます。

私は、昨年十一月の市長就任以来、市政の舵取りという大役にまい進し始めたばかりではありますが、市内ではこれまで培われてきたまちづくりの芽が着々と花開いているところであります。

去る三月に開園した「すずらん保育園」は、将来を担う子供たちをのびのび育むため、地元甘利山のヒノキを主要構造物材として建築され、全国規模の木材利用優良施設コンクールにおいて表彰されるなど、多くの注目を集める中、現代のニーズにマッチした質の高い保育を実施しているところであります。

また、平成二十三年九月に開館した葦崎市民交流センター「ニコリ」は、市の内外から人気を得ている子育て支援センターをはじめ、蔵書や学習室の充実した市立図書館、会議室や各種テナントなど、世代を超えた人々との交流、コミュニティ活動の拠点としての役割を存分に発揮しており、今年の六月、開館から四年を待たずして通算百五十万人の来館者をお迎えしたところであります。

今月の五日には、コミュニティ放送局エフエムハケ岳のサテライトスタジオが開設されたことにより、新たな魅力も加わりましたので、今後とも変わらぬご愛顧をお願いするものであります。

私たちは今、かつて先人達が経験されたものとは異なったいくつもの厳しい試練に直面しているわけですが、この試練を乗り越えて明日の葦崎市の進むべき道を切り開いていくことこそ、現代に生きるものの責務であると考えます。

先ずは、高齢化率が二十七%にも迫っている超高齢社会の現況ではありますが、これには健康寿命の延伸による高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。中でも、日常生活において気軽に楽しむことのできるウォーキングには、本年度において新たな企画をスタートさせるなど、市民総参加によるイベントに成長させたいと考えているところであります。

次に、今や三万人を切ろうとしている人口減少問題につきましても、大きな人口減少を抑制するため、移住セミナーや個別相談会の開催のほか、空き家バンクの活用など、移住者を受け入れる環境や機運の醸成に市を挙げて努めてまいります。

また、人口減少に伴う地域経済の縮小に対する懸念もありますが、この度、本坊酒造株式会社・山梨マルスワイナリーと基本協定を締結し、これまで市内で待望されてきた観光拠点の中核となるワイナリーが、いよいよ実現する運びとなりました。今後は、新たなマーケットの開拓を模索しながら、「赤ワインの丘プロジェクト」基本構想の実現に向け、努力してまいります。

いずれの局面におきましても、日本全体における人口減少の中で、持続可能な仕組み

の構築が必要となっており、まちづくりの多くの場面において、新たな工夫の導入が求められています。

そのため現在、様々な分野から参画をいただいている葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会において、「働く世代とその子ども達が輝くまちづくり」を基本理念とした葦崎市版総合戦略を本年中に策定するため鋭意作業を進めているところですが、「自分たちのまちをより良くするため、自分たちでできることは自分たちで行う」、そういった市民の皆様による熱心で自主的な活動もいただきながら、「チーム葦崎」として英知を結集したまちづくりを実践してまいります。

本日の記念式典では、引き続きこの後、多年にわたりそれぞれの分野で市政発展に率先垂範され、公共福祉の増進に献身的な活動を続けてこられた方々に、表彰状並びに感謝状を贈らせていただきます。

受賞者の皆様の多大なご功績に対しまして、心から敬意を表しますと共に、深く感謝申し上げます。どうか皆様におかれましては、今後とも健康にご留意され、なお一層、本市の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は、葦崎駅前通りから本町通りを会場として、本市最大の総合参加型イベント「武田の里にらさき・ふるさと祭り」も開催されております。

総勢二百人参加の大綱引きや仮装パレードといった新たな催しも企画しておりますので、お楽しみいただければと存じます。

また、大村博士が本市に寄贈してくださり、現在は館長も務めていただいている葦崎大村美術館につきましては、明後日十三日まで無料開放しておりますので、この機会に是非ともお立ち寄りください。

終わりに、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆様を始め、市民の皆様のご健勝とご多幸を衷心からご祈念申し上げますとともに、葦崎市の明るい未来に向け、たゆまぬ努力をお約束し、式辞の結びといたします。

平成二十七年十月十一日 葦崎市長 内藤 久夫